

はねっと 10

仙台市市民活動サポートセンター通信 ばれっと

“ばれっと”には、仙台市市民活動サポートセンター(サポセン)にいろいろな人が集まり、それぞれの色(個性)が発揮され、新しい出会いや活動が生まれていく。そんな願いがこめられています。

サポセンを活用した人たちから「私のあしあと」

やりたいこと、伝えてみたら動き出した



受付で出迎えるスパークシップとWITHのメンバー

中高生が笑顔になれるヘアアレンジサロン

大学生や美容専門学校生からなる学生団体スパークシップは、2023年7月17日、中高生を対象としたイベントを開催しました。参加した13人の中高生たちは、ヘアアレンジを施してもらったり、カフェスペースでお茶をしたりしながら、スパークシップのメンバーと交流。学校での出来事や、おしゃべりに関すること、進路の相談などおしゃべりを楽しみました。

「自分たちのため」から「誰かのため」に変化した思い

スパークシップのメンバー4人は同じ高校の卒業生。高校時代、文化祭で来場者にヘアアレンジを施す企画を予定していましたが、コロナ禍で中止に。心残りから、卒業後、周囲の友人らに気分が上がる髪型を提供するイベントを実施してきました。いつの間にか大きくなっていったのが、「ヘアアレンジをもっと誰かのために役立てたい」という思いです。そこで、市民活動やボランティアに関する相談を受け付けているサポセンに相談。「スキルを活かした社会貢献がしたいなら…」と、様々な分野の市民活動団体を紹介してもらい、実際にいくつかの団体の活動現場にも足を運びまし

た。その中で共にイベントを企画することになったのが、地域の団体同士をつなぎ幅広い福祉活動を展開している一般社団法人WITH(以下、WITH)です。

伝えることで増えていった、応援してくれる人たち

スパークシップはこれまでイベントを行う時、「来た人を笑顔にしたい」という思いはあっても、その対象や目的を明確にしたことはありませんでした。しかし今回は、自分たちの「やりたいこと」「できること」をあらためて整理。中高生が悩みや不安、将来への焦りを気軽に話せる場づくりに、ヘアアレンジや、年齢が近い自分たちの経験を活かせるのではと考えました。方針が決まってからは、初めての企画書づくりや後援の獲得に奔走。甲斐あって、仙台市中心部の美容室から場所と機材の提供や、仙台市社会福祉協議会の助成金を得ました。「最初はやりたいことを上手く言語化できなかった。でも、伝えることで自分たちだけでは出会えなかった人と出会えたり、足りないところも補ってもらえた」と話すのはスパークシップの五十嵐陽向さんです。やり遂げたイベントは多くのことを教えてくれました。



▲ヘアアレンジ終了後、希望者には記念写真をプレゼント

サポセンは、あなたの市民活動への一歩を応援します!

「地域や社会の役に立ちたい」
「どんな市民活動・ボランティアがあるの?」など
サポセンでは、自分たちの住むまちや社会のために何かしたい人の相談を受け付けています。スパークシップのようにあなたも一歩踏み出してみませんか?



▲相談については
こちらから



活動に+(プラス)したくなる事例やお役立ち情報をご紹介します。

団体グッズを自分たちで作りたい！という時の味方「メイカースペース」

「スタッフTシャツを作りたい」、「クラウドファンディングの返礼品としてグッズを作りたい」、「イベントの看板やのぼりを作りたい」。市民活動団体が広報や資金調達のためにオリジナルグッズを作成することも多くなってきました。グッズを作るには、業者に頼むのが一般的ですが、自分たちで作ることもできます。とはいえ、そう何度も使うわけではない道具類を揃えるのは無駄だし、公共施設の会議室でノコギリやカナヅチは使えないし…「作業に必要な道具や場所があったらいいのに」という方はいませんか。

「メイカースペース」とは、ものづくりをする人々(=メイカー/Maker)のための場所です。仙台市内に複数あり、木工や印刷、クラフトなど、スペースそれぞれに特色のあるものづくり活動をサポートしています。メイカースペースを利用するには、会員登録や利用料が必要です。機材の操作方法を学ぶ講習会を受けてから使うなど、スペースごとでの違いもあります。興味を持ったら、まずは問い合わせを利用して利用の仕方を確認しておきましょう。定期的に見学会を開いているスペースもあるので、参加してみると利用する時のイメー

ジができます。

また、メイカースペースの他にも、ホームセンターや公共施設などが運営する作業スペースや工具の貸し出しサービスもあります。作りたいものややりたいこと、時間や費用、手間などを照らし合わせて、どんな方法が選択できるか、考えてみませんか。



▲特に木工に役立つ道具・工具を持つ
メイカースペースDIY STUDIO (仙台市若林区)

Map for Makers(マップ・フォー・メイカーズ)

仙台のメイカースペースのひとつ「FabLabSENDAI - FLAT」が作成した、何かを作っている、または何かを作りたい人のためのマップです。様々なものを作るための道具や作業スペースなどがある宮城県内の施設がまとめられています。詳細は各施設等にお問い合わせください。



活動を始める一歩を応援「コトハジメ」

病気や障がいのある子どもの「きょうだい」の応援団「シブリングサポーター」になろう

「シブリング(SIBLING)」とは、「きょうだい」という意味の英単語。病気や障がいのある子どもの「きょうだい」たちの支援を学ぶ研修ワークショップが仙台で開催されます。病気や障がいのある子どもに大人の目は集中しやすく、「きょうだい」は不安や寂しさ、孤立感などを抱くことがあります。「きょうだい」たちが持ちうる気持ちを知り、支える人になりませんか。

病気や障がいのある子どもの「きょうだい」の支援をひろげるための、シブリングサポーター研修ワークショップin宮城

2023年11月12日(日)会場:仙台市太白障害者福祉センター

詳細・申込URL ▶



●第1部 10:00~12:30(定員50名)

「きょうだい」たちの持ちうる悩みや思い、安心を増やす工夫について、講義とグループワークを通して学ぶ

●第2部 13:30~15:30(定員20名)

あそびのプログラムを体験する実践編

参加費:第1部2,000円

第1部第2部4,000円

申込:QRコードから(11月5日〆切)

主催:認定NPO法人アフタースクールぱるけ

協力:NPO法人しづたね

つながる つなげる サポセン

仙台市市民活動サポートセンターとは

様々な分野の市民活動、ボランティア活動の支援施設です。「自分たちのまちをもっと良くしたい」。そんな市民の自発的な活動を応援します。お気軽にご相談ください。

今月の休館日 10月11日(水)、25日(水)

開館時間 月曜日~土曜日 9:00-22:00

日曜日・祝日 9:00-18:00

休館日 毎月第2・第4水曜日(祝日の場合は翌日木曜日) 年末年始

〒980-0811 仙台市青葉区一番町四丁目1-3

TEL 022-212-3010 FAX 022-268-4042

[ホームページ] <https://sapo-sen.jp>

[サポセンブログ@仙台] <https://blog.canpan.info/fukkou/>

「ばれっと」バックナンバーは
ホームページからダウンロードできます。



ほぼ毎日更新している「サポセンブログ@仙台」で、取材の様子やこぼれ話を配信しています。

編集・発行

仙台市市民活動サポートセンター

(指定管理者:特定非営利活動法人

せんだいみやぎNPOセンター)

発行日 2023年10月1日

デザイン PEACE Inc.

[X(エックス)]

@SCSC4CA

[YouTube]

サポセンちゃんねる

